

- ◆ 産業支援については、各省庁が工夫を凝らした支援施策を用意している一方で、近畿財務局の経済調査ヒアリング等においては、**中小企業経営者から「どのような国の支援メニューがあるのか知らない」等の声**が聞かれる状況。
- ◆ そこで、国の地域産業支援施策を金融機関による顧客支援のツールのひとつとして活用することにより地域における産業支援を実現していくことを目的に、「**地域金融機関による国の地域産業支援施策の積極的活用に向けて**」と題した**セミナーをシリーズ開催**していくことを決定。

1. 成果事例の概要等

(1) 地方創生セミナー『第1回 地域金融機関による国等の地域産業支援施策の積極的活用に向けて』

【企画の端緒】

○産業支援については、各省庁が様々な施策を用意しているが、中小企業ヒアリング等では、経営者等から「**国の支援施策は活用していない**」、「**どのような支援メニューがあるのか知らない**」などの声が聞かれる。

○金融機関はビジネスモデルを転換するため、これまで以上に顧客に寄り添い、**事業性評価による融資等による顧客支援の取組**を行っている。

○国の支援施策を有効に活用し顧客支援に成果を上げている金融機関から、**あらかじめ「これまで有効であった施策」及び「今後活用したい施策」の聞き取りを実施。**



(2) 農業活性化のための資金調達セミナー 【共催：近畿農政局兵庫拠点】

【企画の端緒】

○農業従事者と金融機関の間で、農業融資に関する認識のギャップ。

○農業従事者の減少、高齢化等に伴い、今後、農地集積や規模拡大等が進んでいくなか、多様な資金調達手法の農業従事者等への周知が必要。



【ポイント】

中小企業支援には、現場で顧客に寄り添う金融機関のノウハウと、国の支援施策を両輪として有機的にワークさせていくことが有効であり、金融機関の職員が国の支援施策の知見を深める場をニーズに沿って提供することが重要。

2. これまでの取組の成果等

(1) 第1回 地域金融機関による国等の地域産業支援施策の積極的活用に向けて(大阪)

- 第1部：金融機関から最も希望が多かった**近畿経済産業局による「創業支援に関する施策」及び「経済産業省の29年度予算関係情報『地域で活用可能な経済産業省予算』**をテーマに開催。金融機関が現場で顧客支援を行うにあたり、有益・有効と考えられる施策を紹介。
- 第2部：説明者である国の出先機関担当者による**個別相談会**を開催。金融機関が現に直面している課題等について、**直接国の担当者に相談できるよう企画**(個別相談会では、金融機関が顧客支援の現場で直面している課題のほか、地方公共団体等と連携した地域活性化の取組のために活用できる支援施策やキーパーソンの紹介依頼等、種々の相談があった。80名の参加見込みに対し100名が参加)。

参加金融機関の声：「顧客への案内の優先度が明確になった」「企業支援、コンサルに非常に役立つ内容」など
近畿経済産業局担当者の声：「金融機関から現場のニーズを聴きとることができる貴重な機会。本省庁に伝達することにより、新たな施策の企画・立案に役立てることができる」



(2) 農業活性化のための資金調達セミナー(神戸)

- 6次産業化にかかるファンドを利用した経営者からの事例発表を行い、農業分野における資金調達手法等を周知し、農業の活性化に寄与。
- 金融機関は農業関連分野の資金調達の現状等について説明し、理解を深めることで今後の資金供給に向けた取組に繋げる。
- セミナー終了後、金融機関担当者と当所で農業融資の現状・課題等に関する意見交換を実施。



3. 今後の課題と近畿財務局の対応

＜今後の課題＞

- 引き続き金融機関から現場のニーズを聴取し、ニーズに沿ったセミナーを企画。開催にあたっては、補助金申請の時期等にも配慮しつつ、実効性を高めるべく工夫していく。

＜近畿財務局の今後の対応＞

- 第1回セミナーに参加した金融機関等からは、引き続きのセミナー開催要望が強く、テーマを変えたシリーズ開催を決定(平成29年4月：人材不足解消に向けた支援施策・農業支援施策、29年6月：海外進出支援を予定)。